

広報各務原（小中学生向け）

かかみかほろ

令和6年3月発行（年2回発行）

各務原市広報課



各務原市では、毎月「広報各務原」を発行し、市民のみなさんにいろんな情報をお知らせしています。その中には、みなさんが、夢や目標、市への誇りを持つるよう、身近な物を作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介する『メイドイン各務原』や、スポーツや文化、その他の活動で活躍する方を紹介する『今月のキラリさん』など、小学生や中学生のみなさん向けのコーナーもあります。

そこで、これらのコーナーなどをまとめた、小中学生向けの広報紙を公開しました。ぜひ、ご家族やお友達と一緒に読んでください。

また、広報各務原は、市ウェブサイトで、デジタル版を読むことができます。小中学生向けの広報紙を読んで、もっと各務原のことを知りたいと思っただ方は、下記QRコードからご覧ください。



#02 非常持ち出し袋・非常備蓄品の確認!

あなたの備えは、大丈夫?

下記チェックリストに記入しながら、備えておきたい物品を用意!非常時に慌てることのないよう、リビングや玄関など、生活の中で目につくところに備えておきましょう。

そのほか、ライフラインが途絶えた場合、最低3日、できれば1週間分過ごせる食べ物などを用意しましょう。

その他の物品などは、市ウェブサイト(右記QRコード)をご覧ください。



非常持ち出し袋チェックリスト

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> 携帯充電器、モバイルバッテリー |
| <input type="checkbox"/> 食べ物 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 救急セット
(薬など) | <input type="checkbox"/> 衛生用品
(マスク・ウェットティッシュ) |
| <input type="checkbox"/> 本人確認書類 | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ、歯磨き粉 |
| <input type="checkbox"/> 着替え、タオル | <input type="checkbox"/> 防災ヘルメット |
| <input type="checkbox"/> 携帯トイレ | <input type="checkbox"/> ラジオ |



#03 自宅内・外の安全対策

自宅に危険な場所はない?

自宅の倒壊を防ぎ、安全に避難するために、次の対策を行いましょう。

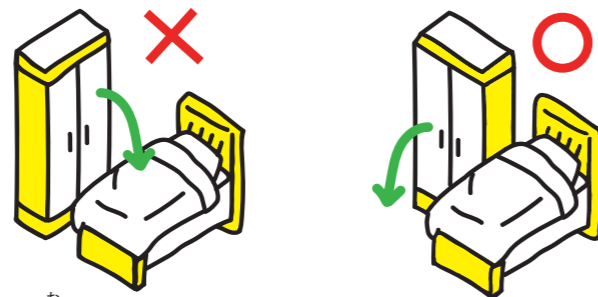
- 耐震診断・耐震補強 ベランダの整理・整頓
- ブロック塀の状態の確認 家具が倒れてこない位置に寝る
- 避難の妨げにならない場所に家具を置く
- 家具の転倒・落下防止のための金具の利用

家具を固定する金具は、ホームセンターなどで購入できます。なお、65歳以上の1人暮らしの方を対象に、家具の固定(一部)を無料で行っています。詳細は防災対策課にご相談ください。

家具の配置の工夫

イラストのように、家具の配置を工夫しましょう

- 安全な位置に置く
- 避難や通行の邪魔にならないように置く



※詳細は、市ウェブサイトに掲載している「防災ハンドブック」をご覧ください

お子さんも一緒に! 地震に備える、 わが家の家族会議

—あなたのおうちの備えは大丈夫?—



平成28年4月の熊本地震や、今年1月の能登半島地震など、近年、日本各地で大規模地震が頻発しています。そして近い将来、高い確率で発生と言われていた南海トラフ巨大地震は、各務原市でも、最大震度6弱の揺れになると予想されています。今こそ家族で、地震が発生した時の動きや備えについて考え、このページに記入・チェックしましょう。

詳細 防災対策課 ☎ 058-383-1190

#01 家族の緊急連絡先・避難場所

いざというときに、誰に連絡?どこに避難?

家族で緊急連絡先・避難場所を事前に決め、下記メモに記入しましょう。避難場所は避難所のほか、在宅避難や親戚・知人宅への避難も含め、話し合っておきましょう。

緊急時、外に行く際には、行き先を残すことが有効です。行き先のメモなどを残す場所や方法も、家族で確認しておきましょう。

連絡先メモ

なまえ
名前

れんらくさき
連絡先

なまえ
名前

れんらくさき
連絡先

きんきゅうじ かぞく ひなんばしょ
緊急時の家族の避難場所

そのほか家族での決めごと

災害用伝言ダイヤルの活用を! [171]

災害が発生した場合に、NTTが災害用伝言ダイヤルを設置。30秒以内で家族の伝言を聞く(残す)ことができます。体験利用するなど、日ごろから、使い方を家族で確認しておきましょう。



災害用伝言ダイヤル(171)ウェブサイト

あれもこれも
各務原生まれ!

No. 02

エアバッグの中の金属部品

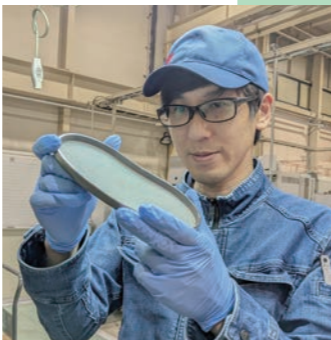


①自動車事故からみんなの命を守る「エアバッグ」。この会社では、硬い金属を思いのままに加工して、部品を作っているんだ。人の命を守る大切な部品だから、より慎重に点検しているよ。



②金属を加工する機械に使う金型も、自分たちで作っているよ。金型作りには、職人の技術が生かされているんだ。

③金属をいろいろな形に加工できるから、自動車部品の他にも、アウトドア用品など、さまざまなものを作っているよ。



株式会社樋口製作所

所在地 金属団地 44
電話 058-383-1141

子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No. 01

ミヤタのヤングドーナツ



①子どもにお手頃価格で満足感のあるお菓子を届けたい、との思いから平成元年に誕生。全国各地への年間出荷数はなんと2000万パック!みんなは食べたことある?



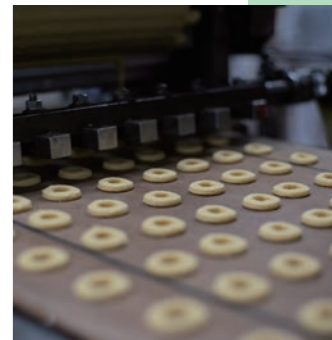
②人の目で厳しくチェックしています。これからもみんなのところへ、安心でおいしいドーナツを届けます!

③小麦粉・砂糖・卵などで作った生地を成型機で切り出すところ。1時間で約2万3000個もできるんだって。



宮田製菓株式会社

所在地 鷺沼各務原町7丁目71番地6
電話 058-370-6020



「全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会」審査員賞受賞

いわま だいち
岩間 大地 さん

那加浜見町在住。4月に、加納高校音楽科に入学しました。ランニングも好きで、岐阜城まで走ることも。



自分にしかできない音楽を!

将来の夢は、「音楽で人を楽しませたり、感動させたりできる音楽家になることです」と岩間大地さんは話します。幼少期からトロンボーンを演奏し、2月に開催された「全日本ジュニアクラシック音楽コンクール」の岐阜県本選を突破。全国大会への出場が決まりました。

4月からは、加納高校音楽科に進学して、演奏に磨きをかけます。「今回の結果には満足できず、音楽の世界の厳しさを感じました。しかし、全国大会でしかできない経験ができました」と語る岩間さん。より表現豊かに演奏するために、「基礎を固めること」を高校での目標に掲げ、練習を重ねていきます。



「第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」出場

いはら らいむ
涇原 来武 さん

鷺沼台在住で、鷺沼第三小学校6年。バスケットボールやバドミントンも楽しむ。好きな食べ物はメロン。



初めての全国大会、楽しみでたまらない!

1月・2月に行われた岐阜県の予選大会で標準記録を突破し、涇原さんは、初めての全国大会出場を決めました。「これまでずっと目標にしていた、やっと全国大会に出場することが決まりました。とてもうれしいです」と笑顔で話します。水泳をやっていたお父さんの勧めで、年中から水泳を始めた涇原さん。最初は、市民プールで泳ぎを楽しんでいました。その後、スイミングスクールで本格的に練習するようになり、メキメキと力をつけ、今では、年上の選手と同じコースで練習しています。

これからの目標は、全国大会で上位になる選手。今回の全国大会では、200メートル自由形と200メートル個人メドレーに出場します。楽しみでワクワクが止まらないという大会について、「全国では、自分のベストの泳ぎ方で、ベストのタイムを出して、納得のいく試合にしたいです」と力強く語りました。



あれもこれも
各務原生まれ!

No. 04

カカオ 70%チョコレート

みんなも大好きな、甘いチョコレート。この会社では、1日に15トン・300万個も作っているよ。いろんな機械があって、ピーナッツが入ったものや、模様のあるチョコレートも作れるんだ。



原材料を細かく砕いて、えぐ味や酸味などの雑味を取り除いているよ。この工程がおいしさの秘密なんだ。

この会社では、スティックゼリーを年間1億本も作っているよ。日本でも数少ない機械で、1本1本しっかり殺菌されているんだ。



日幸製菓株式会社

所在地 那加山崎町 41

電話 058-383-5151

あれもこれも
各務原生まれ!

No. 03

シャワーヘッド

みんなが毎日お風呂で使う「シャワーヘッド」。この会社では、ミストを発生させて肌をきれいにするシャワーを作っているよ。浴び心地を良くするために、穴の数や大きさにもこだわっているんだ。



毎日何千個ものシャワーを人の手で作っているよ。ミスがないように部品の残りの数を確認しながら作業をするんだ。

心地良いシャワーにするために、丸い輪を置いて、その中にシャワーの水が取まるように、水の流出の検査をしているよ。



SANEI 株式会社

所在地 鷺沼朝日町 1丁目 136番地 4

電話 058-384-9988

「カンガルーカップ国際女子オープンテニス 2023」出場

池戸 悠希子 さん

蘇原中学校出身。テニスの合間の、同級生とのおしゃべりが息抜き。憧れの選手はロジャー・フェデラー。

国際大会を経験し、さらなる成長を誓う!

今年5月に、長良川テニスプラザで、テニスの国際大会「カンガルーカップ」が開催されました。実業団などで活躍する選手が多数出場するこの大会に、相学院高校1年の池戸悠希子さんが出場しました。結果は、惜しくも一回戦敗退でしたが、「技術の精度や安定感が違った」と、レベルの高い選手から多くのことを学びました。

池戸さんがテニスを始めたのは、小学3年生のとき。ソフトテニスをする兄を見て、「自分もやってみたい」と市内のクラブチームなどに加入し、練習しました。小学6年生のときには、初めて全国大会に出場し、試合の組み立てや相手との駆け引きがおもしろい」と、テニスに夢中になりました。

今月のキラ!

市内の輝くみなさんを紹介します



「2023 FIS フリースタイル&スノーボード ジュニア世界選手権大会」優勝

浅野 志織 さん

那加中出身。趣味は1人カラオケ。移動中には、アニメや映画の鑑賞をしています。

結果は気にせず、とにかく楽しんで試合を!

3月にフリースタイル&スノーボードジュニア世界選手権大会がイタリアで行われました。中京大学2年の浅野志織さんは同大会のモーグル競技で、優勝。「難しいコースでしたが、直前の練習でしっかり合わせる事ができました」と、大会を振り返りました。浅野さんが初めてスキーの板を履いたのは、4歳のころ。スキーをやっていた叔父と一緒に、スキー場に行くようになりました。小学校低学年でスキー場の大会に出場、小学6年生ごろには、公式大会にも出場しました。

高校2年生ごろには「スキーが楽しくない。同級生みたいに、遊んだりアルバイトしたり、普通の生活がしたい」と悩むこともありました。これからの家は、家族や応援してくれる人々に感謝の気持ちを忘れず、日々練習に励みます」と意気込んでいました。

今月のキラ!

市内の輝くみなさんを紹介します



あれもこれも
各務原生まれ!

No. 06

スポーツ用の義足

① 事故や病気で足を失った人の歩行を助ける「義足」。この会社では、日常生活用の義足だけでなく、スポーツ用も作っているよ。この義足で、パラアスリートの活躍を支えているんだ!



② 最新のスポーツ用の義足は、東京パラリンピックで、日本代表選手が使ったよ。義足を作る技術の高さで、世界を驚かせたんだ!

③ 50年にわたり、日本人に寄り添った義足を開発しているよ。日本の生活に合わせ、正座やあぐらもできるんだ!



株式会社今仙技術研究所

所在地 テクノプラザ3-1-8

電話 058-379-2727

子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

あれもこれも
各務原生まれ!

No. 05

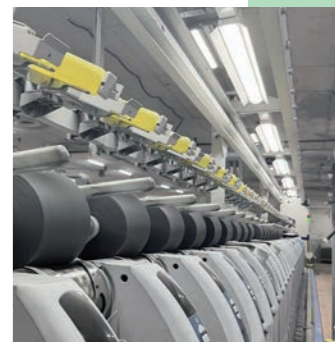
制服に使われる毛糸

① この会社では、市内の中学校や高校、企業の制服などに使われる「毛糸」を作っているよ。原料となる羊の毛に同じものはないけれど、毎年同じ制服を届けられるよう、工夫しているんだ。



② 1つの糸を作るために、6色くらいの繊維を合わせて作っているよ。「黒色」と言っても、実はいろんな色の繊維が混ざっているんだ。

③ センサーが、糸の細い所、太い所、コブなどを検知。糸を滑らかにするために、不揃いな部分を切つてつなぎ合わせているんだ。



日本毛織株式会社

所在地 瑞沼各務原町 8-7

電話 058-384-1211

子どもたちが、夢や目標、市への誇りを持てるよう、身近なものを作る市内企業の「ものづくりへの思い」などを紹介します。

「World Jump Rope Championships 2023 世界選手権大会」総合2位

いわいももか
岩井 桃香 さん

鷺谷中学校2年。体を動かすことが好き。演技の楽曲編集や技の構成も、全て自分たちで考えています。



息ピッタリの演技を、世界で披露!

今年7月、アメリカで、なわとびの世界大会「World Jump Rope Championships 2023 世界選手権大会」が行われました。那加前洞新町の岩井桃香さんが、日本代表チームとして出場し、団体総合2位に入賞。「緊張よりも、演技をする楽しさが勝りました」と、大会を振り返りました。

練習を行っています。学校のテスト期間など、勉強との両立で大変なときも、「チームに迷惑をかけたくない」、「技が成功する喜びを味わいたい」と、練習に取り組みむ岩井さん。技を跳ぶ動画を撮影し、縄の傾きや手の動きなど、細かいところまで確認しています。

そして出場した、世界大会。岩井さんは、ペアフリースタイルとチームフリースタイルに出場。大勢の観客や大音量の音楽など、国内大会とは違う雰囲気の中、四重跳びを中心とした高難度の技を、息ピッタリに披露。それぞれ2位と3位になり、団体総合2位に輝きました。

今回の「世界2位」に悔しさを見せる岩井さん。さらなる高みを目指し、日々の練習に励みます。

那加中学校のビオトープを整備するボランティア「つゆ草の会」会長

きんばら たかし
金原 孝 さん

那加前洞新町在住の80歳。シニアクラブの会長や、ボランティアハウスの代表なども務める。



楽しくやろうぜ! をモットーに、多くの人と協力しています

金原孝さんが代表を務める「つゆ草の会」は、那加中学校のビオトープを整備するボランティア団体。最近では、「ホタルが舞う環境を作りたい」と活動に取り組む、今年5月には、多くのホタルを確認することができました。

つゆ草の会ができたのは、約3年前。うっそうとした草むらとなつて放置されていたビオトープを「地域の学びの杜として再生したい」との思いで、地元有志が立ち上がりました。それ以降、学校と一緒に、活動を続けてきました。水源の確保や、水路の整備、橋の付け替えなど、時には人手が足らなくなることもありましたが、その都度メンバーが知り合いに声をかけ、乗り越えてきました。

花植えや草取り、水やりなどは、生徒たちと一緒にしています。「子どもたちも、積極的に手伝ってくれます」と、笑顔を見せました。ビオトープ再生の一環として、ホタルが舞う環境作りにも取り組んでいます。水質の管理やカワナナの放流のほか、メンバーが育てた幼虫などの放流を行った結果、多くのホタルが飛び交いました。子どもたちがホタルに目を輝かせている姿を見て、うれしくなりました。と、自身も喜びました。

これまでの活動を振り返り、「多くの人と協力しながら、楽しく整備を進めてくれました」と、金原さん。ビオトープがさらに花木に囲まれ、地域のつながりの場となることを目指し、これからも活動を続けていきます。

安心できる居場所づくり

自分の良さと可能性に気づき、
自立に向けて一歩踏み出すための支援体制

詳細 学校教育課 ☎058-383-1118

教育支援センター (所在地)	利用日時 (祝日は休館)	電話番号
あすなる教室 (産業文化センター 4 階、那加桜町 2)	月～金 9:30～15:30	058-383-1487
さくら・まえみや (前渡西町)	月～金 9:15～15:00	090-9952-0376
さくら・なか (中央図書館 4 階、那加門前町 3)	火～金 9:15～15:00	080-7964-1182
学びの部屋“ココカラ” (中央図書館 4 階)		

市では、学校に行きづらさを感じている児童・生徒に寄り添い、一人一人が安心して学ぶための支援や居場所づくりを進めています。

現在、市内には、皆さんの相談に応じる教育センターのほか、4つの教育支援センターがあります。それぞれのコンセプトから自分に合う施設を選び、複数の施設を併用することもできます。これらの施設では、さまざまな人やものとの出会い、自分を見つめ、動き出すきっかけになる支援を進めています。詳しくは、市ウェブサイト（下記QRコード）をご覧ください。詳しくは、市ウェブサイト（下記QRコード）をご覧ください。



教育支援センター

■あすなる教室

音楽やスポーツなどの小集団活動や学習支援を行います。曜日によって活動が異なるため、参加する活動・曜日は、自分で決めることができます。



■さくら・まえみや、なか

「好きなこと」や「やってみたいこと」を自分で決めて、自分のペースで活動します。滞在時間も自分で決めることができます。



■学びの部屋“ココカラ”

自分で学習課題を決めて取り組みます。学習の仕方や内容について、アドバイスを受けることができます。



小・中学校

■教育相談、学習活動室

児童・生徒の悩みについて相談に応じ、学習やその他の活動を支援します。



教育センター

■市教育センター“すてっぷ”（相談係）

児童・生徒や保護者、教職員などのあらゆる悩みに対する相談窓口で、臨床心理士や発達支援員などが、さまざまな支援を行います。また、学校につないで、支援策を提案します。